

INTERNATIONAL DAY of Commemoration in memory of the Victims of the Holocaust
アウシュヴィッツ解放 75 年 ホロコースト国際デー2020

講演会&高校生ワークショップ

アウシュヴィッツが投げかける問い

私たちはどう答えるか

75 years after Auschwitz

1月27日は、国連が定めた「ホロコースト犠牲者を追悼する国際デー」です。この日は、ナチ時代の最大規模の収容所アウシュヴィッツが解放された日にあたります。国や民族のちがいをこえて、この歴史から共に学ぼうと国連は呼びかけています(2005年国連総会決議)。

アウシュヴィッツ解放75周年の2020年は、ドイツ近現代史がご専門の石田勇治氏を講師にお迎えして、歴史学の視点からアウシュヴィッツをつくりだした様々な要因を学びます。今を生きる私たちにアウシュヴィッツが投げかける問いを一緒に考えてみませんか。

1/26(日) ゲスト講師



石田勇治氏

東京大学大学院総合文化研究科教授

DAY 1

講演会

2020年1月26日(日) 午後2~4時

ゲート・インスティテュート東京にて (東京メトロ「青山一丁目」駅4(北)出口徒歩7分)

どなたでもご参加いただけます(日本語。英語による同時通訳つき)

DAY 2

高校生向け
ワークショップ

2020年1月27日(月) 午後5~7時

国連大学にて (JR「渋谷」駅徒歩10分、東京メトロ「表参道」駅出口B2徒歩5分)

高校生と引率の先生が対象です(日本語のみ)

参加無料

要申込

申込

両日ともホームページよりお申込みください

<https://www.npokokoro.com/20200126>



イスラエル大使館



駐日ポーランド共和国大使館



後援 ドイツ連邦共和国大使館、イスラエル大使館、駐日ポーランド共和国大使館
主催 NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)、ゲート・インスティテュート東京

アウシュヴィッツが投げかける問い

私たちは、どう答えるか

1/26

(日)

DAY 1 講演会 ゲスト講師 石田勇治氏

午後2~4時 ゲーテ・インスティトゥート東京にて(東京都港区赤坂 7-5-56)

1957年京都府生まれ。マールブルク大学 Ph.D 取得。東京大学大学院総合文化研究科教授。専門はドイツ近現代史。著書に、Jungkonservative in der Weimarer Republik. Der Ring-Kreis 1928-1933, Frankfurt am Main 1988、『ヒトラーとナチ・ドイツ』、『過去の克服—ヒトラー後のドイツ』、『20世紀ドイツ史』、資料集に『ドイツ外交官の見た南京事件』、共著に『ジェノサイドと現代世界』、『想起の文化とグローバル市民社会』など。



DAY 2 高校生ワークショップ

1/27

(月)

午後5~7時 国連大学 1階 ANNEXにて
(東京都渋谷区神宮前 5-53-70)

高校生の皆さん、ホロコーストの歴史を学び考えるワークショップに参加しませんか。写真を使って、「問い」を立て、対話をしながら思考を深めます。ひとつの歴史が異なる様々な視点から見えてきます。ホロコーストの歴史を初めて学ぶ人も安心して参加できます。

※引率の先生も一緒にご参加いただけます

ホロコーストとは？

第二次世界大戦時、ナチ・ドイツとその占領下のヨーロッパで起きたユダヤ人虐殺。殺された約600万人のうち約150万人は子どもでした。障害者やロマの人々も犠牲となりました。持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、ユネスコはホロコーストを教材とした教育活動を支援しています。Kokoroの訪問授業「ハンナのかばん」もユネスコの後援を受けて実施しています。



命を尊ぶ、思いやりのある心を育むために

NPO 法人ホロコースト教育資料センター(Kokoro)

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-14-58 クリエイト目黒 103 TEL: 03-6450-3413 Email: info@npokokoro.com

ホームページ <https://www.npokokoro.com/>  npo.therc  npo_therc

Kokoro は全国の学校や自治体などで人権・平和教育の出張授業を行っています